

- 1P 「快樂追求と仏教の幸福感」 元サマナ
2. 3P 2006. 5 活動日程 資料 A派
3P～9P 掲示板2チャンネル群より
9P 「 瘋 狂 者 」 元サマナ
10. 11P 原理派－2004. 12ころの事件把握の状況資料
12P 「江川紹子さん－4女の後見人選任申立」 窓口

快樂追及と仏教の幸福感

イギリスの法学者で、また倫理学者でもあったベンサム (1748～1832 年) という人がいました。ベンサムは功利主義を社会の中で実践しました。功利主義の原則は「最大多数の最大幸福」で、快樂をもたらす行為が道德的だと説きます。ベンサムは快樂主義の立場をとっています。善であるものが快樂で悪であるものは苦痛であるというものです。

快樂主義とは、行為の善悪の判断基準、人生の価値観として、快樂を善として、快樂を追求し求めることをよしとする立場です。よって、快樂が多ければ多いほど善い状態ということになります。またベンサムは、人間は快・苦の主人に仕えていて、快を求め、苦を避ける傾向にあり、すべての人は自分が快 (幸福) だと信じることを追求するものだと主張しました。そして快樂は量的に計算できるものだと主張し、快樂計算の構想を立てました。

戦後の日本が快樂を追求することをよしとする、まさにベンサムの価値観をもとに進んできたように思います。それで利己主義におちいり、いじめ、虐待の問題や、年間3万人以上の自殺者といった精神的に退廃した状態にいきつきました。快樂の追求というどうしても利己主義になってしまうと思います。その結果が今の他を思いやらないギスギスした日本という環境になっているのではないのでしょうか。

快樂の追求は国の経済的豊かさをよしとする考え方になってきます。ブータンは貧しい国ですが、国民総幸福量（Gross National Happiness）という価値観をうちたて、それをもとに国作りをしています。経済的には貧しくても、チベット仏教にもとづく他への思いやりの精神を大事にして、国民の心の豊かさを重視した国の政策です。

環境を犠牲にしてでもたくさんのお金を稼ぎ、それをもって国の力とする従来の思想とは、まったく異なる価値観を持つこの政策は、国民に受け入れられただけでなく、世界中の注目を集めています。

ブータンでテレビ放送が始まったのは1999年のことで、そのため人々の欲望が開発されることは少なく、国民の心に快樂追求の傾向が植えつけられることがなかった。仏教の精神が暮らしに根ざしていることもあり、物質的には豊かとは言えなくても心豊かな生活が保たれていた。しかし、テレビ放送がはじまって、国民に快樂追求の傾向を植えつけられ悪影響が出ているらしい。

ベンサムという快樂追求が善という価値観は、その価値観を実践してきた現代の日本、世界を見たら、問題のある考え方のように思える。逆に仏教の価値観のように、快樂追求言い換えると欲望、欲望をもたない状態が幸福という考え方が見直されたもよいのではないだろうか。

元サマナ

21
14:00~
ウインドトレーニング
講習会

< 2006.5

Ax 資料 >>

22:00~夜礼

28

特別イベント
企画中

この日は
おいておいてね!
メッターダツン師

イベントスケジュール

3	20:00~ ソーパカ師 パツシカ師 生 リレー説法
4	20:00~ リレー説法

掲示板2チャンネル群より

(名無しさんは、仮名ではなく、仮名も書かないとすべて「名無しさん」になります)

627 : 元サマナ : 2006/06/14(水) 13:57:50 ID:eFzt4aHL

>614

>でも、仲の良かった端本くん（ガフヴァ）や岐部さん、
>他の人たちのことを考えると、暗澹たる想いがするのは今でも同じ。
まったくです。
教祖には何か一言でも発言して欲しいですね。

僕らを嘲笑するような内容でもそのほうが気持ちの整理がつきます。
会えばおそらく分かります。選挙前の出家でしたから。話したことはなかったかもしれません。

631 : 元サマナ : 2006/06/14(水) 15:01:00 ID:eFzt4aHL

>626

坂本事件直後、実行犯を集めて「3人殺せば死刑だな。わしも一緒だな。」といってますしね。

VX 殺人事件で山形さんが犯行後落ち込んでいる様子を見て新実容疑者が「これで昇進確実だな。」と声をかけている事実。

その後、サティアンでの報告を済まして教祖から新実容疑者が二十万円受け取り、山形さんに「何かに使えよ。」と言って三万円渡している。新実容疑者は「あれは逃走資金だった。」と証言しているが山形さんは「そのような言葉はなかった。」と反論している。実際3万円で何日隠れられるか。これは活動に対する報酬であると考えられている。

山形さんは法廷で泣きながら、新実さんや井上さんなど、自分で実行できるのに汚れ役は部下にやらせて自分は監視役や現場指揮をやっている。自分は道具に使われただけ。と言って昇進や報酬について「ヤクザの論理だ。」と言っています。

これらの事は死後どこへ転生するかよりも確実な既成事実。現役の人達は自分の頭を使って考えて欲しい。勇気を持って離れて欲しいと思います。

632 : 和井 恵 : 2006/06/14(水) 15:24:15 ID:HcrMDia7

>まったくです。教祖には何か一言でも発言して欲しいですね。

>僕らを嘲笑するような内容でもそのほうが気持ちの整理がつかます。

そうだね。世間がどう受け取ろうと、信念を持って行った行為であったのならば、裁判官達の前で、堂々と「獅子吼」すればよかったはず。

教団は「彼」の絶対的な「指導力（支配下）」の元にあったことは、長年内部で色々見聞きしてきた私には良く分かっている。

「弟子達の勝手な暴走」などという珍説もあるけど、彼の性格から言って、そんなことを黙って見過ごしていたはずないもん。カール・リンポチェの時だって、弟子達の意識がそちらに向かわないようにと御一行がオウムの道場への来訪を終えていなくなったとたんに、それまで各支部に飾っておいたリンポチェの「御尊影（写真）」を、すぐに全て「撤去」させてしまったしね…

そういう部分に関しては、人一倍「敏感」なタイプだったと思うよ。

642 : 元サマナ : 2006/06/14(水) 16:45:07 ID:eFzt4aHL

>640

僕も第7S 関係で自白剤と嘘発見器かけられたけど正直どちらもあてにならないと思った。自白剤は酒に酔っているような少し気持ちいい感じ。意識はないに等しいくらい。ある事ないこといいそう。嘘発見器は緊張しやすい人はなに聞かれても、疑わしい結果がでそう。だから拷問の末に殺された富

田さんは本当に可哀相です。あんなもんで人間を見られたんでは。

ちなみに自白剤の時一瞬だけ意識がはっきりした。その時の担当者の質問は軽い調子でにこやかに「えー？だって君はさっき公安とか創価学会に関わってたっていったじゃないかー。」だって。僕そんなこと言ったのか？必死になって否定しましたよ。

652 : キャンディ@もうタヌキジジイにしか見えない : 2006/06/14(水) 19:11:40 ID:I4FUZ7LY

漏れが思ったのは、日本の某政党にも、メーソンのメンバーである人間がいて、鳩山だったか、公然と認めているんだそうで、そういう情報を、場合によっては、教団内でビデオ製作してまで信者にみせたのを記憶している

あるいは、メーソンというのは、世界征服をねらっていると、それはそうなのかもしれない。私はメーソンについて今のところあまり知らない。で、そのような情報を教団にいれ、”メーソンって、悪い奴だな”という意識を信者に持たせる。

しかし、私自身そうだったが、教団に言われたのでそう思っただけで自分で、メーソンに関する文献を読んだり決してしなかった興味ないから

で、本屋に行けばメーソンに関する本はたくさんあるようだから、本当に組織はあるらしいとそれはいいと。しかし、メーソンが事実オウムを襲ったのか？ それを確認した人がいるのか？ で、教祖はそのメーソンに終わっている 命狙われていると

しかし、じゃあソンシ、見たのですかメーソンのメンバーをと。どんな奴でした、と問い掛けた人がいたろうか？ 私は見たこと無い。つまり、この教団の特性として、全く疑わない 教祖が言ったんだから本当と教祖がウソなんかつくわけじゃないと

664 : キャンディ@もうタヌキジジイにしか見えない : 2006/06/14(水) 22:48:59 ID:B6z0aE9x
>解脱は自分で納得するものですよ。証明なんて必要ないんです。

この世にはたくさん、私は悟ったと自己申告する人がいるようだがどうするよ人にわかんないことを言い張っても仕方ないでないの自己満足する意外にない

成就者のみなさんは、教祖に成就を認定されたとき明らかに自分は悟りを得た、という感覚があったのだろうか

675 : 元サマナ : 2006/06/14(水) 23:55:14 ID:eFzt4aHL

>661 僕の名前を読んでそう言ってるのかな。それとも別の誰かか。

もし僕の 657 に対するコメントだったら説明しますが「おれ解脱したよな」と言ったのは尊師で石井さんと言うのはケイマ正大師です。

1986 年ヒマラヤでの修行をして帰ってきた時当時の弟子たちに自分は解脱したと宣言した際、弟子たちの質問の嵐と、疑問にとまどった尊師が思わずケイマさんにそう言ったんです。

オウムの最初期の弟子で教団の出家制度を作った人物が法廷で証言してるんですよ。彼は確かラジニーシのところにおいてそこの出家制度を取り入れたのがオウムの出家制度なんです。ホーリーネームが与えられるのもその真似なんです。彼はその言葉を聴いてあなたと同じように考えて疑念を持つようになったと言っています。

692 : 元サマナ : 2006/06/15(木) 01:40:06 ID:J9vIwzL4

本物？ 辞めてオウム事件を振り返って、被害者の苦しみにショックを受けて絶望して自分も苦しんで始めて思うことです。本物ってなんですか？

693 : 名無しさん@3周年 : 2006/06/15(木) 01:50:59 ID:/yneJqdx

心が成熟することだと思うよ。>本物

694 : 名無しさん@3周年 : 2006/06/15(木) 01:52:10 ID:JoNWVD6u

凡夫が普通にやってることだよ>心の成熟

696 : 元サマナ : 2006/06/15(木) 02:02:30 ID:J9vIwzL4

>691 まるでオウムで得たかのように言うのは辞めてください。オウムにいる間は真理にめぐり合った類まれな功德の持ち主とかいっておだてられて、その気になって逆に人の不幸に鈍感になり、気がつけば世の中に不幸しかもたらせなかった。

サリンを撒いて車で逃走した僕らよりもみんなの安全のために危険だと分かかって不審物を取り除いてなくなった地下鉄職員の方がよっぽど尊敬すべきじゃないか！

そういうことができる魂になりたくて出家したんじゃないのかと。

しかもいずれにしても避けられない強制捜査を何日か、引き伸ばすためだけにやったんだと。なんて愚かなんだと。

僕たちは類まれな悪いカルマの持ち主だったんですよ！ 現実を見れば日本人で僕らほどの嫌われ者はいないじゃないですか！ しかも何の言い訳も僕らにはできないんですよ！

706 : 元サマナ : 2006/06/15(木) 02:42:57 ID:J9vIwzL4

実行犯になった弟子たちを死刑にはしないで欲しい。彼らの気持ちを思うともっと辛いと思

うから。逆に死刑を今の苦悩からの解放だとさえ思ってるんじゃないかな。

711 : 和井 恵 : 2006/06/15(木) 03:23:33 ID:zICNYIFg

>>678 >オウムはまさに「体験至上主義」な所があったから、
>317のアーガマの例と同じく「自分で体験してもいない事を盲信する」のは否定してました
けれど「（教義の内容を）自分で実際に体験する」事を推奨してました。

予想通りの発言が出たね^^

教祖は、荒俣宏さんとの雑誌での対談で、まず最初に「ニセモノの体験」が現れると言っている。グルは、それを一つ一つ潰していくのだと。そして、その後に「本物の体験」が始まると説明している。私も昔から、「神秘体験」には「真」と「偽」とがあると考えていた。喩えて言えば、「本当の妊娠」と「想像妊娠」のように。

しかし、彼は私が一年間の極限修行中に入っていたときに、目の前でこういうコメントを述べている。「私は今まで、弟子達の体験を一度も否定したことがない」と。

要するに彼は、雑誌での真つ当な発言とは裏腹に、「霊的指導者」としての役目を果たすことなく、ことさら「神秘体験」を強調し、それらを「売り物」にして利用した。

「薬物（LSD）」を使って「体験」をさせるという発想は、その極みと言えるだろう。確かに密教的な修行の手法の一つとして「幻覚作用」を起こさせる食物を利用することはあるが、それは「体験」させることが目的なのでなく、「意識の変容（あるいは既成観念の崩壊）」に導くための手段として使われている。「変わった体験」をして終わりなのではない。

7

13 : 和井 恵 : 2006/06/15(木) 03:54:39 ID:zICNYIFg

>成就者のみなさんは、教祖に成就を認定されたとき
>明らかに自分は悟りを得た、という感覚があったのだろうか

キャンディちゃんの疑問にお答えできる、あるエピソードがあります。

選挙の後、敗戦の憂いを払拭させる為かのごとく、オウムでは200人（だったかな？）の大量の成就者を出すという猛烈な成就のための修行が行われました。

その直後の道場の集いにおいて、ある「成就認定者」が、次のような質問をしたのです。

弟子「私は、どうもピンと来ないのですが、自分は本当に成就しているのでしょうか？」

彼は、おそらく「大丈夫、ちゃんと成就しているよ」と言って欲しかったのでしょうかね。

ところが、ちょっとした沈黙の後、教祖「じゃあ、君の成就は取り消そう。自分で判らないような成就じゃ、しょうがないからな…」

弟子「はあ…」弟子達の間に、ちょっとした緊張感が走りました。やばい、迂闊な質問をしたら、自分も成就を取り消されるかも知れないぞ、という「危機感」が生じたのです。実際には、彼と同じような疑問を抱いていた人たちは大勢いたようですよ^^

まあ、みんながみんなそうだったとは、勿論言いませんけどね…

720 : 和井 恵 : 2006/06/15(木) 08:07:02 ID:zICNYIFg

>>666~669

私はね、一番最初に付いたワークが「編集・デザイン」だったから、こういった記事などの「制作現場」をよく知っているの。

例えば、支部道場の「説法会」の取材を終えて記事を書いていたサマナが、隣のサマナと話していた会話など… ちょっとシナリオ風に書いてみると、

A「説法会、どうだった？」

B「どうって、いつもとほとんど同じなんだけどね。でもそれじゃ記事にならないし…」

目の前の書きかけの原稿を見ながら、

B「…うーん、やっぱりワンパターンだけど、無難な表現に落ち着くのかなあ」

B「たまには、違った言い回しも使ってみたいんだけどね」

A「それはエゴでしょ？^^」

小声で原稿を読み始めるB。

B「『オーム三唱とともに、道場はホーリーなヴァイブレーションに包まれて…』」

ちょっと間があって、くすりと笑うB。

B「だけど、『ホーリーなヴァイブレーション』って、面白い表現よね。」

A「常套句の一種でしょ」

B「わかったような、わからないような…^^」

Aもつられて少し笑いながら、

A「『ホーリーなヴァイブレーション』って、どんなヴァイブレーションなんだろうね^^」

B「でしょ？改めてよく考えると、何かヘンな表現よね」

現場では、時々こういった「人には言えないような会話」が飛び交っていたりするんだよね…

762 : 元サマナ : 2006/06/15(木) 17:42:27 ID:ZidkNEQX

親しいもの同士で話し合ってみるとグル像とか、救済とは何かとか、心の成熟とは何か人によって意外と認識が違うのが分かります。

それは教義に、元々自分が持っている思想が、ブレンドされているのかもしれないですが。仏教にボン教がブレンドされて、チベット密教が生まれたように一人一人のなかでも同じこ

とが起きるのかもしれないですね。

たとえば端本さんは、長年教団にしながら武士道にこだわったり井上さんは坂本竜馬を尊敬していたり。ドイツの SS 武装親衛隊に憧れてた人もいました。純粋な右翼思想に憧れてる人もいましたね。

「同床異夢」と言う言葉があるけど、同じ教団にいても実は、みんな考えていることはそれぞれ違っているものなんですよ。

分派問題が現すように、一つの教義を学んできたもの同士でも、あれだけの違いがあるんですからね。だから今は宗教ってやっぱり、一人一人のなかにあるもんじゃないのかと思います。下向したのもそれに気づいたのがきっかけなんですけど。

癡 狂 者

最近、津田真一著『反密教学』を読んだのですが、その中に次のような記述がありました。

「彼らサンヴァラ系密教徒は荼枳尼（ダーキニー）の集会を求めて巡礼地から次の巡礼地へと遍歴する。かくて彼らはその一生を「身を浄むる」ためのかかる巡礼に送り、その果てに人間的な意味と尊厳（それこそが人間を輪廻せしむるものに他ならない！）の一切を放棄した「癡狂者（ふうきょうしゃ）」としてその生を終り、多分、彼らの自意識を超えて、成仏するのではなく、輪廻を脱してゴータマ・ブッタの云う「不死」、即ち涅槃の「滅」へ帰入する。」

（津田真一著 『反密教学』 リプロポート 1987 年 p208）

今の麻原さんが糞尿垂れ流し、接見に来たアーチャーリーやカーリーの前でマスターベーションするなど、人間としての尊厳を放棄した状態なので、引用した本の記述を読んですごく興味をもちました。

ちなみに「癡狂」という言葉の意味は広辞苑で調べると

癡狂（ふうきょう）： 常軌を逸していること。また、その人とあります。

はたして 麻原さんは、聖なる癡狂者なのか、ただ単におかしくなっただけなのか、それとも裁判中止をねらって演技しているだけなのだろうか。

元サマナ

はじめに

一連のオウム事件、そして麻原彰晃旧団体代表が逮捕されてから10年の月日が経過しました。当時は激罪逮捕も含めると400名以上もの信徒・サマナが逮捕され、そのうち現在でも裁判が継続しているのは15名。その全員が一審を終え、舞台は控訴審あるいは上告審へと移っています。ところがこれらの裁判の内容については、一般市民はマスメディアを通じてしか知ることができません。もちろん、裁判上で事件の真実が全て明らかにされているわけではなく、それは確かなのですが、マスメディアが伝える裁判の内容というのは、自分自身が規定した枠組みに収まっている、かつ話題になりそうな部分のみをそこからさらに恣意的に切り取ったものであり、決してありのままを伝えていないのではないことを心に留めておく必要があります。

本稿では一連の裁判で明らかにしたことについて、マスメディアがなかなか伝ええない点を補いながら、いくつかの事件の実態を紹介していきたいと思います。

国選弁護団の指摘した問題点

■ 宗教的側面の完全切り捨て

ところで警察・検察は旧オウム真理教の宗教的な面を完全に無視し、「殺人を容認する特異な教義に基づくテロ集団」という見方しかせず、そのように決めつける捜査しかしてきませんでした。旧団体代表は自身の第14回公判で、自己の基本姿勢について次のように述べています。

「私にとって大切なのは、オウム真理教の名誉であり、教義です。したがって、こういうばかげた裁判はやめてください。……被告人としてはその権利があるはずですが、被告人として発言させてください。私は裁判進行上、権利があるはずですが、……オウム真理教の教義は絶対的真理、つまり仏教の教えを背景としています。ところが弟子たちがこのように狂った状態の演出をするということは、私は、私の信頼する真理勝者方に対して恥ずべき態度をとることになります」

このような主張は捜査段階から全て切り捨てられていました。検察は旧団体代表を「特異かつ危険かわまりない教義」を持ち、「権勢欲や支配欲は止まることを知らない」人物で、「オウム神の会の時代から自己の権勢欲や支配欲を満足させるためにだけに活動し」「絶対的権力を有する神聖法皇を目指し」ていたために「教団幹部に指示して本件犯行を含む各種違法行為をさせていた」としています。このような指摘が全くの的はずれであることは、多言を要しないでしょう。

警察・検察のこのような態度のため、なぜこのような事件が起きたのか、ということは全く明らかにならなかったと、弁護団は最終弁論の中で非難しています。

ボツリヌス菌散布の実態

ボツリヌス菌はハチミツに含まれていることもあるような劇とありふれた菌で、いくつかの種類があり、人体に有毒なものと有毒でないものに分れます。

1990年に行われた石垣島セミナーは、実はこのボツリヌス菌散布に際して信者を遊説させたためのものだった、というのが検察側のストーリーです。ところがこの培養を担当した遠藤誠一さんは2001年4月6日の自らの公判で、実際のボツリヌス菌培養現場の人たちはそれ以外の人と認識が違い、ボツリヌス菌の採取に失敗して培養もできていなかったもので、この件はマハームドラードだと思っていたこと、ボツリヌス菌の中にはボツリヌス毒素を産生しない種類のものがあることを旧団体代表は把握していたこと、などを述べています。

つまり本件は最初から効果がないことを知りながら実行したものであるということです。セミナー後も何度がボツリヌス菌（らしきもの）が撒かれているようですが、全て何の結果も生じていません。

電戸異事事件の実態

電戸道場の建物の中に、炭疽菌の培養と撒布ができるようなプラントが造られていたのは事実です。しかし本件では培養責任者だった遠藤誠一さんが2001年4月6日の公判で、実は有毒な菌株が得られずワクチン用の無毒株を入手して培養していたということを、証人として自ら暴露しました。これは同年10月10日の読売新聞が「北アリゾナ大が電戸事件の炭疽菌はDNA分析の結果、家畜のワクチン用の無毒のものだったと判明した」との報道をしており、客観的に裏付けられています。

この件では炭疽菌培養の責任者は遠藤さんでしたが、公判では井上嘉浩さんや滝澤利義さんなどが「この炭疽菌培養に関わるように」と上杉史浩さんから指示された」と述べ、早川紀代秀さんにいたってはこの電戸全体の責任者が上祐さんでその下に村井秀夫さんがいたと述べており、上祐さんがこの計画全体の責任者だったことが明らかになっています。また杉本繁郎さんは、この頃行われた他の細菌噴霧において上祐さんが責任者として深く関わっていた旨を証言しています。

ところで遠藤さんは当時、この炭疽菌培養の失敗を旧団体代表を含め誰にも言わず、培養が成功していたかのように振る舞っていました。当然上祐さんも責任者でありながらそのことを知る由はありませんでした。

さらにこの炭疽菌の噴霧は超高温のジェット噴霧装置で行われており、実は滅菌しながら撒いているに等しいものでした。中川智正さんは「あのままだと高圧で菌が死ぬから結果は出ない」と噴霧直後に旧団体代表から言われたと公判で証言しています。さらにこの噴霧装置は不完全だったために噴霧中に液漏れを起こし、数名が全身に培養液を浴びていますが、その誰にも健康被害は出ていません。

中川さんはこの他にも、旧団体代表が早川さん、遠藤さん、井上嘉浩さんらに対して、菌を降集中のドラム缶に香水を混ぜて臭いが消えるが確認してこいという指示を出し、実際にその3名が臭いを嗅ぎに行った場面を見ているが、やはり彼らには健康被害は生じませんでした。

この他にも1998年8月25日の公判で富樫清夫さんが「導師があれば村井にマハームドラードを引っかけたためのものであったと言っていた」旨証言しています。導師は「導師は『あれはマハームドラードだ。ティローパにはもつと厳しいマハームドラードをかけた。もっと危険な思いをさせた。ハルマゲドン後の教団に我立つように鋭えている。しかし、教団を潰すような真実に危険なことではない』と教えてくれた」などと供述しています。

事件の経緯

松本サリン事件

本件では午後 11 時前頃にサリンの噴霧が開始されたことになっていますが、現地の調査チームがまとめた「松本市有毒ガス中毒調査報告書」によると、その噴霧の 3 時間以上前、あるいは 6 時間以上経った後にも、毒ガスによると思われる症状を訴えた住民が多数いることがわかっており、これは検察側のストーリー一では全く説明がつきません。しかし検察側はこの点について冒頭陳述や論告において完全に無視しました。

また実行犯とされる者らの公判での証言を総合すると、噴霧中は噴霧車が白い霧に包まれて車が見えなくなると言っている。このとき噴霧車に乗っていたのは村井さんと端本悟さんで、端本さんは頭部をビニール袋で作った簡易マスクで覆っていたと述べており、村井さんは車内にはいたもののマスクがからぶついていたと述べています。噴霧終了直後には村井さんはそのまま車外に出て、荷台の噴霧口を手で閉めていました。この噴霧は 15 分ほど続いたとされ、噴霧現場から数百メートル離れた場所でも症状が出た人があるのに、一番間近にいた実行犯らには噴霧中の症状も生じませんでした。現場から離れたあとに、若干息がしにくくなった人がいたのは言うまでもなく、サリンは呼吸器からだけではなく皮膚からも浸透する毒であることがよく知られています。

このように、本件では検察側の冒頭陳述や論告では説明のつかない点が多数あり、検察側の主張し、報道されているような単純なストーリーリーではない疑いが非常に強い事件だとと言えます。その他にも、青山さんは本件の動機になったと言われている教団松本支部に関する民事裁判について勝見込みだったと公判で証言しており、動機についても成立していないことがわかっています。

水野 VX 事件

まず本件については、教団の一部において水野昇さんが死亡した殺人事件であるかのような説明がまことしやかに流れているようですが、本件では水野さんは死亡していません。起訴された罪名としては殺人未遂であり、水野さんには後遺症もなく、法廷に証人として出廷しているくらいです。

なお旧団体代表の一番国選弁護団は、本件までの VX 事件で使われた教団作成の VX には何ら効果が出なかったと、この事件で仮に旧団体代表の指示があったとしても、全く効果が出ないことを確信しつつ指示したものであると主張しています。

地下鉄サリン事件

この事件について検察側の話としては、假令事件での強制捜査を妨害するために起こした事件ということになっています。しかし 1995 年元旦の読売新聞には教団のサリン疑惑が大きく報じられており、このタイミングでサリンによる事件を起こしたら教団が疑われるのは小学生でもわかることであり、現に杉本さんなどは当時「そんな事件を起こせば引き猫になる」と言ったと証言しているくらいです。

この事件については、たとえば特定の路線に被害者が偏っていること、報道における現場遺留物の数が事件直後とそれ以降で変わっていること、検察官のストーリーリーでは説明のつかない物質が現場や被害者から検出されていることなど、いくつもの不自然な点が教団外の第三者から指摘されています。

このように本件では、旧団体代表は周囲に被害が出ないかと知りながら進めていたことが数々の証言によって明らかになっています。

越智事件

この事件は逆さ吊りの修行中に死亡した越智直紀さんの遺体を、マイクログ波を使った装置で焼却してしまったとされるものです。

まずこの逆さ吊り自体は当時破戒破壊カルマ修行の一環として行われていたものであり、懲罰などではありませんでした。破戒するのはエネルギーが下がっているからで、逆さにしてエネルギーを上にするという趣旨で行われていたのです。

また本件は事故死であって殺害ではありませんでした。当時の監督担当者が旧団体代表の指示した時点を越えて吊り上げなければならなかった事故で、越智さんにはすぐに致命な致命措置もされなかったが間に合いませんでした。越智さん死亡の連絡を受けた旧団体代表は事故後すぐに駆けつけてボワの儀式を行っています。

その後の遺体損壊については、空性に返すという趣旨で行われた宗教的な儀礼が法的に問われるものであり、これは宗教的価値観と現世的価値観の食い違いに起因するものです。

この件ではヴァジヤナーナやいわゆる武装化の流れとはまったく無関係の事故ですし、そもそも旧団体代表はこの件では起訴されていません。

滝本サリン事件

この事件は青山さんを逮捕起訴するためにわざわざ立件したという性格が強いものです。なぜならば、遠藤さんは取調官から「これは青山を重罪で起訴するための件だ」と聞いたり証言していますし、富永昌宏さんも同じように取調官から「青山をやつづけるものはないか」と聞かれたと証言しているからです。

さて本件は 1994 年 5 月 9 日に甲府地裁にて駐車中の、滝本太郎弁護士（旧名）の乗用車のフロントガラス前の穴から 80cc ほどのサリン入り液体を流し込んだとされる事案です。もともとこの穴は雨を地面に逃がすためのもので、車内には液体は入らない構造になっています。

このときの実行役として選ばれたのは当時 17 歳のお供物作りのダークニーで、普通に考えてヴァジヤナーナのワークを任せることはおよそ考えられない人物です。

滝本弁護士の車からは鑑定でサリンの分解物が検出されたことになっていますが、この鑑定は事件から 1 年以上経っており、滝本弁護士はその間ずっとその車を使用していました。そのため各被告人の弁護人からは、本当に分解物が検出されたのか疑問が投げかけられています。

また滝本弁護士は症状として鼻水と眼前暗黒感があったと証言していますが、滝本弁護士の青山さんを被告とする民事訴訟の記録によると、滝本弁護士は初期の検事取り調べに鼻水はなかったと答えていたことがわかっています。そのため鼻水については午後 6 時頃と述べているのですが、サリンが滴下されたと言われる時刻は午後 1 時 15 分頃であり、滝本弁護士が車に乗ったのは午後 1 時半頃なので、症状が出るまでの 4 時間半の間は何の自覚もなくずっと運転を続けていたことに半信半疑です。サリンは検疫するとすぐに症状が出る毒物であることはよく知られていますが、当日の甲府は気温が 26 度もあり、サリンは大変発散しやすい条件でした。このように眼前暗黒感すらも、本当にサリン被曝によるものだったのか疑問が持たれているという状況です。

旧団体代表の一番国選弁護団はこれらの事情等を勘案し、結局この件も最初から結果が出ないことがわかっていた、弟子に対するマハムドラーの一環だったと主張しています。

「江川紹子さん」

2006. 8. 28

本日、申立そして記者会見をされたのですね。 敬服、です。

うーん、麻原さんの子供らに「普通の家庭」ってどんなものか、を伝えたいなあと思う。どこも色々あって、事件とか、離婚とかそれはもちろんあるのだけれど、「松本家」は余りに悲惨。

過去、破壊的カルトの教祖の子供らは、まず間違いなく、悲惨な状態となった。麻原さんの子供らを、その本来あると思う仏性を開花させられたならば、それは麻原さんの思想－タナトスーに対する、2つある重要な解決の1つなんだ、と思います。あと一つは、信者さんらのことです。

私が恨みに思うのは、本人自身の弁護よりも刑事訴訟法を、本人らの幸せよりも、自分の主義主張・メンツを大切にする、カッコ書きの「人権派」です。

—— 引 用 ——

松本智津夫被告の控訴審弁護人を務める松井武弁護士を、自分の未成年後見人から解任し、新たな後見人

にジャーナリストの江川紹子さんを選任するよう、さいたま家裁越谷支部に申し立て。代理人の渡辺博弁護士によると、四女は「元信者の資金援助で生活している家族から自立し、教団との関係を断ち切りたいが、家族や松井弁護士に反対された」と会見した渡辺弁護士や江川さんによると、四女は松本被告の妻子や元信者と生活していたが、02年から家出を繰り返し、インターネットなどで教団の犯罪行為の実態を「自分や家族が元信者の献金で生活しているのはおかしい」と考え、江川さんのホームページを見て相談のメールを送信。江川さんは「オウム の 価値観を社会からなくすためにも自立に協力することにした」

—— 引用終わり ——

しかしなあ、子どもってあつと言う間に大きくなっていく。眩しいです。ああ、四女のかた外、どうぞボチボチとやって下さい。時に決断は必要です。ですが、すべてにおいて急がなくていいんです。

貴女には幸せになる権利がある。

<http://www.cnet-sc.ne.jp/canarium/>

発行 カナリヤの会

〒242-0021

神奈川県大和市中心 2-1-15 パークロード大和ビル 2 階

大和法律事務所 窓口 滝本太郎 気付

電話 046-263-0130 ファックス 046-263-0375 takitara@yha.att.ne.jp

横浜銀行大和支店 普通 1343078 カナリヤの会 滝本太郎